「○○○題材名（タイトル）○○○」

（内容名）を実践して

○○市　技術・家庭科研究会

１　はじめに

　本校においては，「○○○○」「○○○○」という生徒の実態がある。そのため，題材全体を貫いた「○○○○」という資質・能力の育成を目指し，教師用の題材構想シートと生徒用の授業活用ワークシートを制作し，授業で利用した。

２　題材構想シートについて

　構想シートには次の記入欄を設けた。

|  |
| --- |
| ①○○○○，②○○○○，③○○○○，④○○○○，⑤○○○○，⑥○○○○，⑦○○○○，⑧○○○○，⑨○○○○，⑩○○○○ |

①は，○○○○○○○○。③は，○○○○○○○○。内容としては，○○○○○○○○とした。⑥○○○○○○○○にした。⑨には，○○○○○○○○を想定した。

（ここには想定した内容やどんな意図をもって記入欄を設けたかなど，記入欄の項目名だけでは読み取れない内容を記述してください。）

３　授業活用ワークシートについて

　活用シートには，次の記入欄を設けた。

|  |
| --- |
| ①○○○○，②○○○○，③○○○○，④○○○○，⑤○○○○，⑥○○○○，⑦○○○○ |

②は，○○○○○○○○。③は，思考の流れをまとめられるように○○○○○○○○といった工夫をした。④は，○○○○○○○○することで学習の進め方について試行錯誤し，生徒自ら学習を調整できるようにした。⑤は，○○○○○○○○について具体的に内容を記入できる欄を設けた。

（ここには想定した内容やどんな意図をもって記入欄を設けたか，どんな工夫をしたかなど，記入欄の項目名だけでは読み取れない内容を記述してください。）

４　実践後の評価・改善・感想等

　題材構想シートを用いて授業を行ったところ，○○○○○○○○ができた。また，授業活用ワークシートを用いて授業を行ったところ，○○○○○○○○できた。改善点としては，○○○○○○○○ができるようにしたい。

（ここにはワークシートを利用することでできたことやできなかったこと，改善するべき内容，感想，授業に対する提案などを記述してください。）

（記入例）

留意点：記入例では「○○○○」の部分を赤字で具体的な授業内容に置き換えて記載しています。参考にして下さい。

「災害時の避難における問題を解決しよう」

―C　エネルギー変換の技術を実践してー

○○市　技術・家庭科研究会

１　はじめに

　本校においては，「エネルギー変換を利用した製品は知っているが，事象の要因や原因を追及して，仕組みを知らない」「問題に対して課題を設定し解決する力を十分身に付けていない。」という生徒の実態がある。そのため，題材全体を貫いた「既習の知識を活用し，負荷に対応した電気エネルギーの調整ができる」という資質・能力の育成を目指し，教師用の題材構想シートと生徒用の授業活用ワークシートを制作し，授業で利用した。

２　題材構想シートについて

　構想シートには次の記入欄を設けた。

|  |
| --- |
| ①本質的な問い，②授業で働かせる見方・考え方，③授業内容，④課題設定の資料，⑤見方・考え方を働かせている生徒の姿，⑥課題，⑦解決方法の検討・計画，⑧課題解決に用いる教材，⑨生徒に実践活動を評価・改善させる方法，⑩評価計画と記録 |

①は，これまで題材としての一貫したテーマはあったが，生徒に「どんな力を身につけさせたいか」を一貫した指導のテーマは具体的に出すことができていなかった。そこで，一貫した指導のテーマができるように本質的な問いの欄を設けた。②は，見方・考え方が同じ内容でも表現の仕方にばらつきができ，本質的な問いに必要な内容が見落とされる可能性があり，学年によって見方・考え方の量も変わると考え，題材と学年にあわせた想定する見方・考え方を書き出しせるようにした。③は，②で示した気付かせたい見方・考え方と授業内容が対応できて，本質的な問いにそった学習ができるようにした。⑥の「避難経路をわかりやすくする」「避難場所で使うことで安全が確保できる」という課題を想定し，⑦に解決方法の手順や必要となる教材を記述できるようにした。⑨には，「製作品のパフォーマンスが要求した内容を満たしているか」「チャート表を用いて評価する」「改善するためには何が必要かを考える」など製作活動後の評価・改善の方法を想定できるようにした。⑩では，生徒をどのような授業内容において，何の観点で何から評価するのかを計画し，日付を後からつけることで記録として残すことができるようにした。

３　授業活用ワークシートについて

　活用シートには，次の記入欄を設けた。

|  |
| --- |
| ①題材名と本質的な問い，②見方・考え方，③問題解決，④実践方法，⑤実践の評価，⑥感想，⑦授業後の自己評価 |

②は，見方・考え方に気付く授業での内容をまとめるものとした。③は，問題発見から課題設定までの思考の流れをまとめられるように「地域社会の問題→エネルギー変換の技術を用いて解決できそうな問題→課題設定→課題の実践方法」といった流れができるように項目立てをした。④は，製作の工程をまとめたり，各工程の責任者，チェック表を用いたりすることで，学習の進め方について試行錯誤し，生徒自ら学習を調整できるようにした。⑤は，製作品が完成後に問題解決に結びついているかどうかを評価させるために数値的に解決の度合いを表す欄と具体的に内容を記入できる欄を設けた。

４　実践後の評価・改善・感想等

　題材構想シートを用いて授業を行ったところ，生徒に必要となる見方・考え方が明確となり，授業中に繰り返し話題にすることができた。しかし，授業構想に当たって④と⑤は⑧の後に持ってくる方が使いやすいと感じた。また，授業活用ワークシートを用いて授業を行ったところ，生徒は問題解決に向けて手順よく考えることができたり，製作について進め方を試行錯誤しながら調整を進めている姿が多く見られたりした。改善点としては，⑦の自己評価の記述に時間がかかってしまったので，記入欄の授業内容を削除したり，ICTを利用したりして短時間でできるようにしたい。